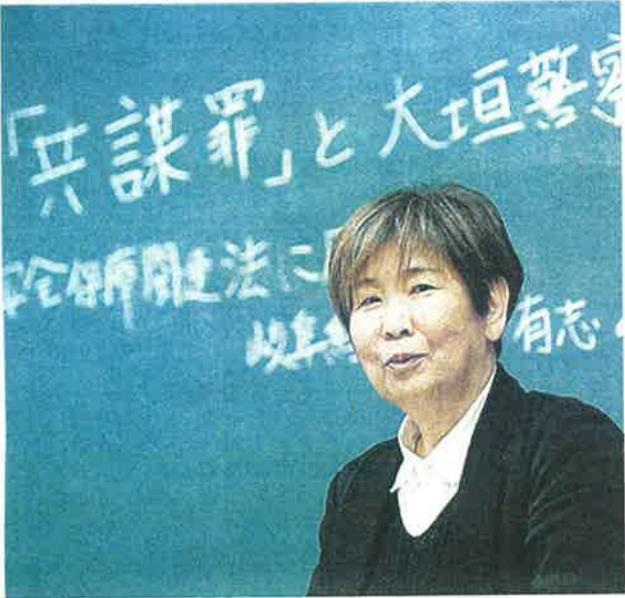


警戒に強化に監視



講演する船田伸子さん＝岐阜県大垣市

犯罪を計画段階で取り締まる「共謀罪」法案が21日、国会に提出された。内心の自由を侵しかねないとの批判は根強く、今後も激しい議論が予想される。警察に監視されてきた市民運動家や労働組合関係者は警戒を強め、抗議の声をあげた。

「共謀罪」

閣議決定に抗議

閣議決定を受けて学者やジャーナリスト、法律家らが21日、参院議員会館（東京都）で抗議の集会を開いた。適用対象のあいまいさを危ぶむ声が相次いだ。

「週刊金曜日」発行人の北村肇さんは「事実と真実は市民の武器だ。共謀罪は報道をつぶすための最大の武器になる」と警告を鳴らした。足立昌勝・関東学院大名教授（刑法）は、法案中の「テロリズム集団」に定義がない点などを指摘し、「内容的にこゝろに未熟な法律をよくした。」と批判した。

「市民が相互不信に」

知らぬ間に病歴漏出

岐阜県大垣市の船田伸子さん(60)は、自分が知らないうちに警察の情報収集の対象になっていた経験がある。「このうえ共謀罪ができたらどれだけ怖いか、想像してください」。21日夜、地元で開かれた「共謀罪」を考える集会で、自身の体験と監視への恐怖を語った。

部電力の子会社が岐阜県警察大垣署との情報交換の議事録を内部文書にしていた。署は施設の予定地で自然破壊や健康への影響を心配する住民の勉強会が始まったことを問題視し、企画した住職や農家の情報を同社に提供。つながらず、勉強会とは無関係の船田さんや市民活動家の実名を伝えた。「病歴情報まで外部に漏らされていると知ったのは2014年7月。市内の風力発電施設建設をめぐる、中



昨年6月、駐車場を映すように木に設置されていたカメラ。大分県別府市、関係者提供

「無関係な人にも広がる」

カメラ 警察が無断設置

大分県別府市にある連合大分の支部などが入る建物。矢須田士・事務局長が敷地内に隠されていたカメラ2台に気づいたのは昨年6月24日。参院選公示の2日後だった。

映像を再生すると、出入りする車のナンバーや、乗り降りする自身の顔が鮮明に確認できた。選挙と無関係の市民の姿も。矢須田さんは「誰が盗撮しているんだ」と不審に思い、その日のうちに別府署に相談した。2日後、事務所に来た署幹部2人が「カメラは署が置いた」と謝罪した。矢須田さんは、組合員の選挙活動が萎縮しかねないと、公表は先送りした。

「話し合いで犯罪の可能性」

沖縄抗議活動

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の移設工事が進む名護市辺野古。米軍キャンプ・シユワブのゲート前や埋め立て予定海域では、工事に反対する市民らの抗議活動が続く。その様子も、警察官や海上保安官、米軍の警備員らが常に

ビデオで撮影している。抗議活動に加わる沖縄平和市民連絡会の事務局長、城間勝さん(71)は「共謀罪」への危惧を口にしていた。日常的に記録されている映像も「恣意的に利用され、

CIC 太陽光発電メーカー

長州産業

山口県山陽小野田市 <http://www.choshu.co.jp>

ネット貸衣裳 丸昌 0120-256-074

ちょっとした話し合いですら「犯罪」とされる可能性がある」と考えるからだ。沖縄防衛局が設置した有刺鉄線1本を切った器物損壊容疑などで反対派のリーダーが逮捕され、約5カ月間拘束された。「（警察は）今でも一人ひとりを特定するように撮影し、参加者に恐怖心を与えている。（法案が成立すれば）もっと弾圧は激しくなるだろう」（吉田拓史）